

(別添1)

第25回花の国づくり共励会

花き技術・経営コンクール応募用紙(個人の部)

1. コンクール参加者

〒 _____

住 所 _____

(ふりがな)

氏 名 _____

生年月日 _____ (歳)

※夫婦連名で応募する場合は、配偶者の氏名・生年月日(歳)を記入すること。
以下、配偶者の経営参加の状況等についても併せて記述すること。

(1) 農業等の経歴(農業に従事した年数や対象作目、表彰事業に参加し受賞したこと等)

(2) 農業学習・研修の経験等(義務教育以後学校その他で農業について学習したこと等)

2. 所属団体等(所属する生産者団体、研究グループ等について記入する)

〒 _____

住 所 _____

団 体 名 _____

代表者名 _____

団体の電話番号 _____

3. 農業経営の概要（平成27年度）

(1) 家族構成

氏名	年齢	続柄	農業従事日数	兼業従事日数	従事日数(計)	備考
雇 用	常雇い	—	—	—		
	臨時雇い	—	—	—		

※構成は、農業従事者について記入すること。

※雇用については、従事している時間等を備考に記入すること。例)8時間×14日×2人

※家族経営協定を締結している場合には、備考欄にその旨記述し、家族経営協定書の写しを添付すること。

(2) 耕地面積等

(単位：a)

田	畑	樹園地	耕地面積計	山林	放牧地帯	面積計

※耕地面積は、農業経営に使用する耕地面積の実面積を記入すること。借入地がある場合は、()書きで内数を記入すること。

(3) 主要な施設の所有状況

種類	新築年次	構造	建物面積(m ²)	利用作物・家畜名

(4) 主要な農業用機械等の所有・利用状況

機 械 等 名	台数・個数	導入年次	能 力	年間利用時間(hr)

※灌水設備、暖房設備、自動消毒設備、フォークリフト等について記入すること。
能力については、kcal、cc、馬力、㎡など農業機械等の性能について記入すること。

4. 花き栽培の状況

(1) 作付体系(主要な花きの作付順序・時期を記入する)

月 旬 花きの 種類	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
例) キク	挿 芽 ○	定 植 ▼		シ ョ ー ド □	シ ョ ー ド □	収 穫 ■				

(2) 栽培面積等の推移（最近3か年）

ア. 露地花き

単位：a，千本(鉢)，千円

花きの種類	栽培面積			出荷数量			生産額			10a当たり収量			主な品種
	24年	25年	26年	24年	25年	26年	24年	25年	26年	24年	25年	26年	

※栽培面積は、延べ面積ではなく実面積とする。
 ※出荷数量は、栽培面積に対応した出荷数量(延べ数量)とする。
 ※10a 当たり収量は、「出荷数量(10a 当たり)÷栽培面積(10a)」とする。

イ. 施設花き

単位：a，千本(鉢)，千円

花きの種類	栽培面積			出荷数量			生産額			10a当たり収量			主な品種
	24年	25年	26年	24年	25年	26年	24年	25年	26年	24年	25年	26年	

※栽培面積は、延べ面積ではなく実面積とする。
 ※出荷数量は、栽培面積に対応した出荷数量(延べ数量)とする。
 ※10a 当たり収量は、「出荷数量(10a 当たり)÷栽培面積(10a)」とする。

(3) 10a 当たり労働時間等

作業名	作業時間	うち 雇用労働 時間	うち 動力作業 時間	作業時間		作業別に見て労力 節減した点	備考
				集落標準	県等標準		
	hr	hr	hr	hr	hr		
計							

(4) 花きの経営収支の推移（最近3か年の実績）

（単位，千円）

平成 24 年度				平成 25年度				平成 26年度			
収 入		支 出		収 入		支 出		収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額	項 目	金 額	項 目	金 額	項 目	金 額	項 目	金 額
計											

(5) 営農資金等の借入状況

借入資金名	借入金の用途	借入先	当初借入年月	当初借入金額 (千円)	借入金完済年月	借入残高 (千円)

5. 農業経営の経緯や改善の動機

(※花きの導入経緯や大幅な経営改善を行った動機等について記述)

6. 花き栽培技術について特に工夫した点とその効果

(※立地条件に対応し工夫した栽培方法、特に工夫した栽培技術、新規に取り組んだ栽培技術・品種等について記述)

7. 花きの出荷・販売について特に工夫した点とその効果

(※消費ニーズの把握、新たな出荷・販売戦略の展開、生販連携の取り組み等について記述)

8. 労働軽減や雇用管理等について特に工夫した点とその効果

9. 環境保全や省エネルギーについて特に工夫や配慮した点とその効果

10. 今後の改善点

11. 地域社会活動の特色

12. その他特記すべき事項
(※次代の担い手の育成、花きの輸出促進の取り組み等について記述)

13. 花の国づくり都道府県推進協議会等審査講評
(※この事項は、花の国づくり都道府県推進協議会等の推薦があった場合には記述してください。また、審査長の氏名、捺印をしてください。)